



スターシップHD

会計、税理士を支援 今月下旬に新会社設立

北陸で会計、税理士事務所の事業拡大を支援する動きが出てきた。スターシップホールディングス(金沢市、HD)の梶原伸代表取締役は今月下旬に新会社を設立し、売上拡大や人材の確保・育成などに関するコンサルティング事業に参入する。会計、税理士事務所の顧問先企業に対する経営戦略立案などの助言にも力を入れ、税務・財務の本業以外でも「稼ぐ力」の向上を支援する。

売上拡大、人材確保を助言

同HDは2006年に設立されて以来、5千社以上

に対して経営指導を行ってきた。新会社では、これまで蓄積してきたコンサル業務のノウハウを生かし、公認会計士と税理士の業務拡大を支援するサービスを展開する。

全国の事務所と顧問契約を締結し、売上高や利益の向上、新規事業による経営戦略の策定、社員向けの福利厚生など、顧問先のニーズに沿ったきめ細かなアドバイスを進める。各事務所が持つ顧問先企業の事業戦略の提案にも取り組む予定

だ。

同HDによると、企業の開業率が伸び悩む中、全国的に公認会計士や税理士の登録者数は増加傾向にある。会計システムの普及により、税務・会計サービスで他の事務所との違いが打ち出しにくくなっている。競争の激化により顧問料収入の減少傾向が進んでいる

ことに加え、会計制度や税制の複雑化に伴ってサービスが煩雑になり、本業以外に業務を広げることができない事務所が多いという。梶原代表取締役は経営コンサルティングを事業の柱

の一つに位置付けており、04年比で全体の売上高が5

倍になり、従業員数が倍増するなど事業を拡大してきた。梶原氏は新会社設立に伴って梶原&スターシップ税理士法人の代表社員を退職した。同HDの経営は引き続き担う。

梶原氏は今後、個人の税理士事務所も設立する予定とし「新会社では会計、税理士事務所の価値を高める提案に力を入れる。業界の発展や税理士、公認会計士の地位向上に貢献したい」と話した。

梶原&スターシップ税理士法人は、父の梶原善昭会長が代表社員として事業を継承する。